

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	中学校教育総務施設管理事業			会計	款	項	目	大	小
				01	10	03	01	03	01
政策	03	3節 学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）		主管課	学校施設課				
施策	3-2	個性を生かす教育環境の基盤充実		主管課長	大塚 昌浩				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	中学校の生徒、教職員及び学校施設利用者	意図	施設の不良箇所の修繕、樹木の剪定等による日常的な施設の維持・保全
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 施設を維持するための光熱水費、各種点検・保険料、土地使用料等の支出 中学校施設の日常的な管理における小規模な破損、不良箇所の修繕 			
事業開始から現在までの状況変化	<ul style="list-style-type: none"> 学校施設の老朽化に伴い、修繕要請箇所は増加、内容も多岐 修繕実施件数、費用は横ばいであるが、樹木管理においての剪定等が困難になる傾向 デザインビルド型包括管理業務委託の採用により設備の保守点検業務の予算及び発注事務を財産活用課に移管 			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
	①	施設修繕実施件数	121	146	123	件	→→	
②	電気料	32,759,897	35,935,584	34,759,925	円	↓↓↓		
③	ガス料金	10,033,070	11,855,097	9,956,343	円	↓↓↓		
④	上下水道料金	34,772,399	34,281,327	35,209,268	円	↓↓↓		
⑤								
⑥								
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）	
事務事業のコスト		平成28年度	平成29年度	平成30年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)		162,398,897	168,341,443	162,382,250				
事業費(b)(円)		156,494,997	162,733,843	159,086,250				
うち一般財源		156,494,997	162,733,843	159,086,250				
職員給与費(c)(円)		5,903,900	5,607,600	3,296,000				
人役・職員(人)		0.86	0.80	0.50				
人役・再任用(人)			0.10					
人役・臨職(人)								
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	B 削減の余地がややある
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	光熱水費、委託料の削減。	③取組における課題(Check)	限られた予算の中で、毎年進行する施設及び設備の経年劣化に対応するためには優先順位を的確に判断することが必要。
②H30に実施した取組(Do)	保守点検業務委託の発注方法及び仕様書の見直し。	④課題に対する今後(H31～)の改善計画(Action)	事後保全から予防保全への切替を目指し、計画的な維持管理を実施していく。